

目 次

日本語版への序文

監訳者まえがき

第2版への序文

1. ま え が き

ポール・ヴァレリイの未刊の手紙

ジャン・バラール

2. 読者への言葉

フランソワ・ル・リヨネ

1

第1編 数学の殿堂

部門A 構 造

11

3. 数学における定義

エミール・ボレル

16

4. 数学の建築術

ニコラ・ブルバキ

31

5. 数学における類比

ロペール・デルテイユ

49

6. 数学と物理学における対称性と欠対称性

アルベール・ロートマン

57

7. 数学の本質的組織に対する直観的考察

ジョルジュ・プーリガン

76

部門B 学 理

89

第1部 数

91

8. 自然数とその一般化

モリス・フレシェ

94

9. 数学上の謎：フェルマの最終定理

テオフィル・ゴー

108

10.	神秘的な数の歴史： π, e, C, i	ポール・デュブレイユ	121
11.	無限に関する問題：超限順序数とアレフ	アンリ・エイロー	142
	第2部 空間		149
12.	三次元空間から抽象空間へ	モリス・フレシェ	152
13.	四次元の旅	アンドレ・サント・ラーゲ	164
14.	空間の曲率並びにそれを初等的に認識する可能性	ルネ・ティリ	188
	第3部 関数		199
15.	一変数解析関数の概念の構成と進化	ジョルジュ・ヴァリロン	203
16.	解析学における関数族の役割	ポール・モンテル	223
17.	コーシーからリーマンまで：実変数関数論の誕生	ジャン・T. デザンティ	231
18.	超限数の先天性	アルノー・ダンジョワ	243
	第4部 群		255
19.	群の概念：その効力と限界	アンドレ・ランタン	257
	第5部 確率		266
20.	確率論の基礎に関する現代の諸見解	ロベール・フォルテ	268
21.	偶然と数学	ピウス・セルヴィアン	280
	第2編 数学の叙事詩		
	部門A 過去		291
22.	数学史概観	ポール・ジェルマン	295

23.	ニュートンの数学思想をめぐって	ピエール・ブリュネ	321
24.	ソファス・リーの生誕百年にあたって	エリー・カルタン	336
25.	女性数学者の肖像	マリ-ルイズ・デュブレイ-ジャコタン夫人	343
	部門B 現在		361
26.	20世紀初頭における数学	ルシアン・ゴドー	366
27.	アンリ・ルベグ：現代解析学の革新者	ルイ・ペラン	381
28.	デヴィド・ヒルベルト	ジャン・ディュドンネ	388
29.	国際数学会議	ロラン・ウァーヴル	398
	部門C 未来		407
30.	数学の将来	アンドレ・ヴェイユ	410
31.	現代的な方法と未来の具体的な数学	ロジェ・ゴドマン	428

装幀 戸田ツトム